

(一財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は新年 1 月 11 日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 「野菜・果物の店頭 POP 表示」プロジェクトは社会実装の働き掛けの段階に入りました

内閣総理大臣・農林水産大臣の認定を受けて 2020 年 10 月から行ってきたサンドボックスの実証実験プロジェクトは、昨年 11 月末に最終報告書を提出し、内閣官房・農水省・消費者庁の了解を得た上で JAH1 ホームページ等での公表を行っていますが、今般、その社会実装のために、スーパーマーケットの全国団体等の協力を頂き、傘下企業の店頭において、「野菜で健康推進部会」編集の黄色マニュアルに則った野菜・果物の POP 表示の普及に努めています。

対象となる全国団体は、①(一社)全国スーパーマーケット協会(NSAJ:正会員 310 社、2021 年 7 月現在)、②(一社)日本スーパーマーケット協会(JSA:正会員 89 社、同)、③日本チェーンストア協会(JCSA:通常会員 56 社、同)。JAH1 今西会長、野菜部会丹羽部会長・芹澤副部会長・中田副部会長が、①NSAJ 様には 2 月 1 日午後、②JSA 様には 2 月 1 日午前、③JCSA 様には 2 月 3 日午前、それぞれ本部を訪問し、プロジェクトの主旨説明、傘下企業・店舗のプロジェクト参加への参加を求めました。今後、地域のスーパー団体あるいはボランティアチェーン、道の駅等を含めて、野菜・果物の小売業に広く働き掛けていく計画です。

2. 健康まちづくり部会の代表が拠点としている中野区の酒井区長を表敬訪問しました

「地域と産業の活性化を通し、未来につながるまちづくりの手法を見出す!」ことを標榜し、昨年 4 月に正式発足した「健康まちづくり部会」は、小原部会長が薬学部教授を務められている帝京平成大学の中野キャンパス所在の中野区を拠点として部会活動をスタートし、7 月には中野区まちづくり推進部の小幡課長等をお招きして中野駅前まちづくり計画を伺いましたが、この度、小原部会長のご斡旋により、1 月 18 日(火)午後、中野区役所に酒井直人区長をお訪ねし、藤井多希子・地域包括ケア推進部長を交えて意見交換を行いました。部会側からは小原部会長の他、日清オイリオグループの新島英実氏、田中優子氏、また JAH1 からは今西会長、佐藤が参加。

小原部会長から、「健康」をコンセプトとしたまちづくりを、中野区をモデル地区として構築したいとの提案がなされ、酒井区長、藤井部長から熱いエールが送られました。今後、藤井部長を窓口、既に実施されている「子ども食堂」事業への企業協力等、様々な取り組みが検討されることとなります。



3. AED部会は、「ファーストエイド推進部会」として新たな組織体制で活動を続けます

これまで「減らせ突然死 救命・AED機器推進部会」(略称:AED部会)として、AED機器の普及やドラッグストアにおける機器取扱いの教育研修を行ってきた同部会は、この度、これまでのAED部会の活動を継承しつつ、AED機器の取り扱いのみならず、他のファーストエイド、例えば急な病気(熱中症、アナフィラキシー、脳卒中、胸痛等)やケガ(止血法、やけど、脳震盪等)に関する知識の普及や、ホームセンター協会、キャンプ協会、スポーツ安全協会、社会福祉協議会等の関連団体との連携、厚生労働省、国土交通省、経済産業省、スポーツ庁、地方自治体等の関連行政に対する働き掛けを行っていきます。今後、準備会を積み重ね、4 月には新しい部会としてスタートします。

4. その他

昭和女子大学寄附講座は 1 月 27 日の「地域密着型ビジネス/地域包括ケアへの取り組み」(龍生堂本店・関口周吉社長)で 15 回の全カリキュラムを終了しました。